

消防技術を競う 第61回揖斐郡消防操法大会

6月19日(日)、池田公園グラウンドで第61回揖斐郡消防操法大会が開催されました。

大会には揖斐郡内の消防団から、小型ポンプの部12チーム、ポンプ車の部11チームが出場し、消防技術を競い合いました。

「小型ポンプの部」

優勝 揖斐川町消防団第4班
(揖斐分団)

準優勝 揖斐川町消防団第3班
(大深分団)

3位 揖斐川町消防団第2班
(坂下分団)

「ポンプ車の部」

優勝 池田町消防団第1班

準優勝 大野町消防団第3班

3位 大野町消防団第1班



▲優勝した揖斐分団の操法

また、小型ポンプの部で優勝した揖斐川町消防団第4班(揖斐分団)は、8月7日(日)に多治見市で開催される県大会に揖斐郡代表として出場します。

森林・環境税を活用した

「森のようちえん」体験

揖斐川町ならではの「森のようちえん」のあり方を考え、展開していこうと、清流の国ぎふ森林・環境税を活用した体験イベント「子どもと森のじかん」が、6月26日(日)、谷汲緑地公園の森の中で開催されました。

「森のようちえん」は、地域の自然をフル活用し、子どもの主体性を大切にする育児スタイルのひとつです。

この日は、町内外から約900人の親子が参加。「大人の手出し・口出し禁止」などの看板が掲げられた会場で、木に吊ったハンモックやロープ遊び、廃材を使った工作、土や虫いじりなど、子ども自身が工夫して思うままに時間を過ごしました。

今後も体験イベントやワークショップを開催して参加者から意見を聞き、町の「森のようちえん」について検討することになっています。



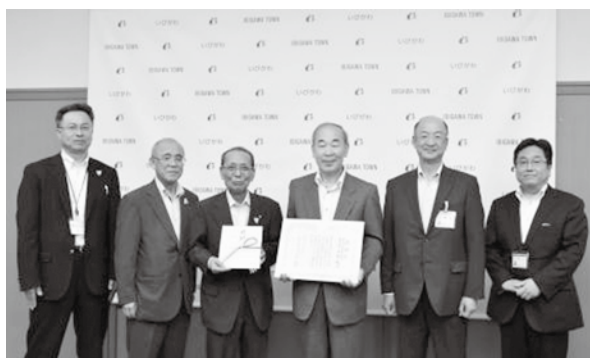
▲木に結んだロープを伝って渡る

子どものための

バランスレール寄付

6月7日(火)、大垣共立銀行から揖斐川町にヒノキのバランスレールが贈られました。

大垣共立銀行は、揖斐川町と「恵みの森林づくり協定」を結んでいます。今回の贈呈は、創立120周年を迎えた大垣共立銀行が地方創生に関係する事業に役立ててほしい、として行われました。



▲宗宮町長(中左)と白井専務取締役(中右)

記念の品を受け取った宗宮町長は、「今回の寄付をきっかけに、地方創生計画の一部である、子育て支援により力を入れていきたい」と話しました。贈られたバランスレールは、揖斐川町内の幼児園等で遊具として使われる予定です。

特定外来生物駆除作業

「河川工事を考える会」

6月1日(水)、谷汲緑地公園付近の名礼谷沿いでオオキンケイギクの駆除作業が行われました。

オオキンケイギクは、黄色いきれいな花を咲かせますが、北米産で繁殖力が極めて強く、生態系に重大な影響を及ぼすことから「特定外来生物」に指定され、栽培したり移動したりすることが法律で禁止されています。

当日は、「河川工事を考える会」の会員など約30人が参加し、除草に汗を流しました。群生していたオオキンケイギクを根から抜き取って袋詰めにし、焼却処分するため、トラックへの積込作業を行いました。同会では、近くでこの花を見かけたら駆除に協力してほしいと呼び掛けています。



▲一斉駆除作業に取組む会員たち

「MSJリーダーズの証」交付式

～中学生が地域のために活動する～

6月17日(金)、揖斐警察署で「MSJリーダーズの証」交付式が行われ、揖斐川中、北和中、谷汲中の代表生徒が「MSJリーダーズの証」を揖斐警察署長から受け取りました。



▲「MSJリーダーズの証」を受け取る生徒ら

MSJリーダーズは、リーダーズを中心とした中学生が、社会参加活動を行うことで、同年代の生徒のお手本となり、少年の非行防止につながることを目的として作られました。

揖斐郡内では、6校の中学校が活動に参加しており、登校する生徒や小学生に対するあいさつ運動や、地域の美化活動を行っています。

MSJリーダーズとなった生徒は、「あいさつ運動は、普段からも行っているのですが、その活動を地域にも広めていきたい」と話しました。

中学校で学習面談指導

揖斐川中学校と北和中学校では、揖斐高等学校と連携した中高一貫教育を行っています。

6月中旬から下旬にかけて、町内の中学校の3年生全員が、揖斐高等学校の担当教員による学習面談を受けました。

この面談は、西濃地区連携型中高一貫教育の一環として、中学3年生に学習意欲を高めてもらうために、毎年行われています。

面談では、学習方法についての話題を中心に、部活動で頑張っていることなど、日常生活の姿勢に対してのアドバイスを受けていました。

生徒は、高等学校進学等の進路を見据えて、真剣な表情で話を聞いていました。



▲面談で真剣に話を聞く北和中の生徒

大和小で

連れ去り防止教室

6月9日(木)、大和小学校で、たんぼぼ班による連れ去り防止教室が行われました。

この連れ去り防止教室は、岐阜県警の幼児等連れ去り防止未然防止教育班、通称「たんぼぼ班」が、県内の小中学生を対象に行っています。

児童らは、大和小の安全サポーターが見守る中、不審者に声をかけられた時の対処法について話を聞き、3人の児童が実際にランドセルを背負って、不審者役の大人を相手に、逃げる練習をしました。



▲不審者から逃げる練習をする児童

教室の後には、児童の登下校時の安全を見守っている、安全サポーターの方々が紹介され、日頃の児童の登下校時の姿についての感想などを話しました。

社会を明るくする運動

街頭啓発

7月の「社会を明るくする運動」と「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に併せて、7月1日(金)、いびプラザ前、養老鉄道揖斐駅前、バロー揖斐川店前の3カ所で街頭啓発活動が行われました。

保護司会、更生保護女性会、揖斐川BBS、青少年育成推進員、県立揖斐高校のMSJリーダーズ、揖斐川中学校と北和中学校のMSJリーダーズのメンバーらが、啓発グッズやチラシを配布し、運動を呼びかけました。

一人ひとりが、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を目指しています。



▲バロー前でチラシを配る生徒ら

第1回 地域交流センター 成人講座



▲講演を聞く参加者

6月11日(土)、全国優良公民館表彰で最優秀賞を受賞した島根県玉湯公民館主任の池田俊貴さんを講師に迎え、「地域で活躍する若者づくり」をテーマに地域交流センター成人講座を開催しました。

玉湯公民館では「たまゆメンバーズくらぶ」という組織があり、高校生が公民館活動の中で活躍しています。その経験から、「高校生が地域のためにやりたいといったことにはとことんつきあう」「高校生が、地域から必要とされていることを実感できることが大切」などのアドバイスがありました。

この講演には公民館関係者等41人が参加しました。参加者は熱心に話を聞き、最後には若者のボランティア組織を立ち上げる時の留意点や、高校生との接し方のポイントなど多くの質問が出ていました。

国民平和大行進が揖斐川町に 核兵器のない世界を目指して

6月15日(水)、核兵器のない平和な世界を目指して行進する「国民平和大行進」が行われました。

この取り組みは、東京や沖縄から平和への思いを訴えながら、広島や長崎を目指すもので、揖斐川町でも毎年行われています。

この日は揖斐郡3町と神戸町で行われ、揖斐川町では、真教寺(三輪)から役場までを約30人が行進しました。

役場では、6月6日(月)に揖斐郡平和行進実行委員会から寄贈された非核平和都市宣言の懸垂幕を掲げて、出迎えました。

富田副町長は、「揖斐川町でも恒久平和を願って頑張っていきたい」と話し、平和への願いが込められたペナントを行進の代表者に手渡しました。



▲副町長(中右)と議長(中左)を囲んで歩く皆さん

水道組合が 町内の消火栓を鮮やかに

6月22日(水)、町内の水道業者15社から成る揖斐川町水道組合が、町内の消火栓のペンキ塗りボランティアを行いました。

このボランティアは、地域貢献の一環として、毎年、水道組合によって行われています。この日は谷汲地域の95基の消火栓が塗られ、色あせた消火栓が鮮やかな赤色になりました。



▲消火栓を心をこめて塗っていく

水道組合長の磯川賢二さんは「町の皆さんの大切な水を預かる水道組合として、今後も活動していきたい」と話していました。

この他にも水道組合では、毎年、配水池の除草作業も行っています。

谷汲中で 車いすバスケット体験会

6月28日(火)、谷汲中学校で、車いすバスケットの選手を招き、全校生徒73人が体験学習をしました。

この体験学習は、岐阜県の人権啓発事業の一環として、障がいのある方と接することで、障がいへの理解を深め、夢を持つことや、困難に負けずあきらめないことの大切さを学ぶために行われました。

ぎふ清流国体に参加したクラブチーム「岐阜SHINE」の迫力あるデモの後、生徒が実際に試合をしました。生徒たちは男女学年関係なく声をかけあい、真剣に楽しんでいました。

体験をした生徒は、「障がいがあっても好きなバスケットでいきいきと活動されている」と話しました。



▲選手を囲んで笑いの絶えないシュート練習

叙位（従五位）受章

平成28年3月1日（火）に亡くなられた樋口直嗣さん（春日香六）が従五位を受章され、宗宮町長よりご家族へ伝達が行われました。

樋口さんは、昭和31年春日村に奉職し、昭和42年からは春日村教育長として13年間、昭和55年からは春日村収入役を3年間歴任されました。昭和58年1月地域住民から推されて、春日村長に初当選、以来平成17年1月まで6期22年の永きにわたり在職し、地方自治の発展に貢献されました。

特に平成15年から2年間は揖斐ふれあい町村合併協議会会長として新揖斐川町の合併に尽力し地域振興に多大な貢献をされました。

これらの生前の功績が認められ、今回の叙位の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



▲ご家族への伝達

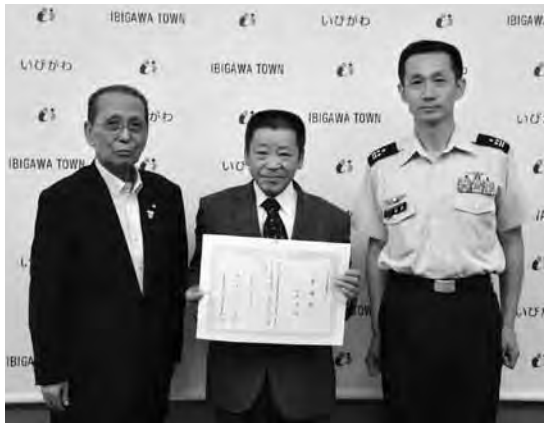
自衛官募集

事務相談員委嘱式

6月20日（月）、揖斐川町役場で、自衛官募集事務相談員の委嘱式が行われました。

今回、自衛官募集事務相談員に選ばれたのは、杉山 登さん（谷汲木曽屋）です。

自衛官募集事務相談員は、相談員の方の好意に基づいて、自衛官志願者に関する情報の提供、自衛官募集の広報の援助を行います。



▲相談員に委嘱された杉山さん（中央）

委嘱を受けて宗宮町長は、「揖斐川町の安全のために自衛隊にはいつもお世話になっている。その基礎となる隊員の皆さんを募集するのは大切なことだ」と話しました。

高齢者交通安全

指導員委嘱式

6月30日（木）、揖斐署の高齢者交通安全指導員の委嘱式と研修会が、揖斐川町役場で行われました。同指導員は、高齢者らが交通事故に遭わないように、地域の集会などで事故防止を呼びかけます。委嘱式に参加された皆さんは、次のとおりです。

橋本 満さん（小島）
高橋 正昭さん（清水）
竹中 みねさん（三輪）
小林 貞夫さん（谷汲深坂）
國枝 久夫さん（谷汲岐礼）
大久保 甚一さん（春日香六）
藤田 宮子さん（春日香六）
高橋 茂治さん（小津）
矢野 哲郎さん（三倉）
中野 郁子さん（西横山）
須網 政人さん（坂内川上）



▲委嘱された出席者の皆さん

「飛鳥川用水之碑」除幕

5月28日（土）、北方の飛鳥川用水トンネル出口で「飛鳥川用水之碑」の除幕式が行われました。

宗宮町長、飛鳥川用水管理委員会の栗田登委員長、碑の題字を書いた北和中学校の杉山愛葵さんらにより除幕が行われました。



▲先人の思いのつまった飛鳥川用水之碑

この「飛鳥川用水之碑」は用水の開設からこれまでの95年の歩みを碑に刻んだもので、水不足を解消するために取り組み、維持してきた先人の労苦を忍び、用水の歴史を後世に伝えるものとなります。